

令和 7 年度

谷場・嶽地区遠方監視装置実施設計業務委託

特記仕様書

南九州市 水道課

第 1 章 総 則

1. 業務委託名 谷場・嶽地区遠方監視装置実施設計業務委託

2. 業務場所 南九州市颯娃町牧之内地内外

3. 履行期限 令和8年2月20日

4. 業務の目的

本委託業務（以下「業務」という。）は、本仕様書に基づいて、委託対象区域の工事を実施するため必要な設計図書等の作成を行うことを目的とする。

5. 業務内容

- (1) 現地調査・設計
- (2) 実施設計書作成
- (3) その他必要な書類作成

6. 特記仕様書の適用

本仕様書は、南九州市が発注する谷場・嶽地区遠方監視装置実施設計業務委託に適用するもので、業務は本仕様書に従い適正に施行しなければならない。

7. 費用の負担

業務遂行に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受託者の負担とする。

8. 法令等の遵守

受託者は、業務実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

9. 中立性・秘密の保持

受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。また、受託者は業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはいけない。

10. 提出書類

- (1) 受託者は、契約締結後に発注者が指定した様式により、関係書類を作成し、監督職員を経て、発注者に遅滞なく提出する。ただし、業務委託料（以下「委託料」という。）に係る請求書、請求代金代理受領承諾書、遅延利息、請求書、監督職員に関する措置請求に係る書類及びその他現場説明の際指定した書類を除く。
- (2) 受託者が発注者に提出する書類で様式が定められていないものは、受託者において様式を定め、提出するただし、発注者がその様式を指示した場合は、これに従う。
- (3) 受託者は、受注時又は変更時において、契約金額が 100万円以上の業務については、工事・業務実績情報システム（コリンズ・テクリス）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10日以内に、完了時は業務完了後 10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請を行う。変更登録は、工期、業務請負代金及び技術者に変更が生じた場合等に行うものとし、「訂正のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受ける。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際は、その写しを直ちに監督職員に提出する。なお、変更時と完了時の間が 10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

11. 前払い金

この業務には前払金を 40%以内の範囲で支払うことが出来る。

1 2. 部分払い

この業務には既済部分が3割以上のときに部分払いが出来る。ただし、前金払をした契約の既納又は既済部分に対する部分払いをする場合は、部分払い金から前金払いに既納分又は既済歩合を乗じて得た額を控除した額とする。

1 3. 業務計画書

- (1) 受託者は、契約締結後、契約図書に定めた日数以内に業務計画書を作成し、監督職員に提出する。

1 4. 管理技術者及び照査技術者

- (1) 受託者は、管理技術者及び照査技術者をもって、秩序正しい業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当な経験を有する技術者を配置しなければならない。
- (2) 管理技術者は、業務の全般に渡り技術的管理を行わなければならない。
- (3) 照査技術者は、業務の全般に渡り照査を行わなければならない。
- (4) 受託者は、業務の進捗を図るため、十分な人数の技術者を配置しなければならない。

1 5. 成果品の審査

- (1) 受託者は、業務完了時に監督職員から成果品の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正・修正を指摘された箇所は、直ちに訂正・修正しなければならない。
- (3) 業務完了時において、明らかに受託者の責に伴う業務の瑕疵が発見されたときは、受託者は直ちに当該業務の訂正・修正を行わなければならない。

1 6. 引渡し

成果品の審査に合格後、本仕様書に示された提出図書一式を納品し、検査員の検査終了をもって、業務完了とする。

1 7. 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、または本仕様書に定めのない場合は、南九州市と受託者が協議のうえこれを定める。

1 8. 受託者の協力義務

受託者は、監督職員が必要と認めた場合、諸関係官庁との打合せ及び協議、各申請業務などに立会い、技術説明にあたるものとする。

1 9. 設計変更

発注者の都合により、計画の一部を変更することができる。これに伴う設計業務の増減等業務に変更を生じた場合は、委託料及び納期について別途協議することができる。ただし、軽微な変更の場合はこの限りでない。

第 2 章 調 査

1. 区域内踏査

特記仕様書に定められた設計対象区域を踏査のうえ、地勢、環境等を調査し現地を十分把握しなければならない。

2. 資料の収集及び調査

業務必要な資料、地下埋設物（水道・水路等）及びその他支障物件（電柱・架空線等）については、関係官公庁・企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

3. 公・私有地の確認

道路・水路等、公私の不明瞭な場所については、公図及び土地台帳により調査確認しなければならない。

第 3 章 設 計 業 務

1. 一般事項

- (1) 業務は、監督職員と十分打ち合わせを行ってから、施行しなければならない。
- (2) 管理技術者は、主要な打ち合わせに必ず出席しなければならない。
- (3) 打ち合わせについては、議事録を取り内容を明確にして、その都度両者で確認しなければならない。
- (4) 設計業務においては、コスト縮減を念頭において設計を行うものとする。

2. 設計業務場所は、以下のとおりとする。

・谷場・嶽地区整備

- (1) 谷場水源地
- (2) 谷場配水池
- (3) 嶽水源地
- (4) 嶽配水池
- (5) 中央設備

3. 設計業務内容は、以下のとおりとする。

(1) 谷場地区 谷場水源地

本施設は、1号取水井と2号取水井の水を谷場配水池へ送水している施設である。今回、施設の中央監視及び遠隔制御を導入するための機能増設・改造を行うとともに、計装機器を新設・更新するための実施設計を行う。

- ①ポンプ制御盤2面更新
- ②取水流量計の更新
- ③信号伝送装置
- ④電気配線工事
- ⑤その他関連設備の新設、更新及び改造
- ⑥遠方監視制御設備に関する通信方式の検討

(2) 谷場地区 谷場配水池

本施設は、谷場水源から送水された水を自然流下で配水している。今回、施設の中央監視及び遠方監視制御を導入するための機能増設・改造を行うとともに、計装機器の新設、老朽化した設備を更新するための実施設計を行う。

- ①自動制御盤更新
- ①配水池水位計新設・送水流量計・配水流量計の更新
- ②電気配管配線工事
- ③その他関連設備の更新及び改造
- ④遠方監視制御設備に関する通信方式の検討

(3) 嶽地区 嶽水源地

本施設は、1号取水井と2号取水井の水を嶽配水池へ送水している施設である。今回、施設の中央監視及び遠隔制御を導入するための機能増設・改造を行うとともに、計装機器を新設・更新するための実施設計を行う。

- ①ポンプ制御盤2面更新
- ②取水流量計の更新
- ③信号伝送装置
- ④電気配線工事
- ⑤その他関連設備の新設、更新及び改造
- ⑥遠方監視制御設備に関する通信方式の検討

(4) 嶽地区 嶽配水池

本施設は、青戸送水ポンプ場から送水された水を自然流下で配水している施設である。今回、施設の中央監視及び遠方監視制御を導入するための機能増設・改造を行うとともに、計装機器の新設、老朽化した設備を更新するための実施設計を行う。

- ①配水池水位計・流量計の新設
- ②電気配管配線工事
- ③その他関連設備の更新及び改造
- ④遠方監視制御設備に関する通信方式の検討

(5) 中央設備

本施設は、南九州市管内の水道施設の集中監視及び遠隔制御を行っている施設である。今回、颯娃区域の水道施設の中央監視及び遠隔制御を導入するための実施設計を行う。

- ①中央監視制御装置機能増設
- ②遠方監視制御設備に関する通信方式の検討

4. 設計基準等

設計にあたっては、南九州市の指定する図書及び下記に示す図書に基づき設計業務を行わなければならない。

- (1) 水道施設設計指針
- (2) 水道事業実務必携
- (3) 土木工事標準仕様書
- (4) 電気関係
 - ① 電気設備技術基準
 - ② 電気事業法
 - ③ 電気設備工事共通仕様書
 - ④ 日本工業規格
 - ⑤ 日本電機工業会標準規格
 - ⑥ 内線規定
- (5) その他関連法令・条例及び規格

5. 設計上の疑義

設計上疑義が生じた場合は、監督職員と協議のうえ、これらの解決にあたらなければならない。

6. 設計資料

設計の設計根拠、資料等はすべて明確にしなければならない。

7. 参考資料の貸与

南九州市は、業務に必要な認可申請書・既存施設（水源地・ポンプ場・配水池）・道路台帳・地積図・地下埋設物調査書等を所定の手続きにより貸与する。

8. 参考文献等の明記

業務に文献その他資料を引用した場合は、その文献資料名を明記しなければならない。

第 4 章 打 合 せ

打合せ回数については、主として下記のとおりとする。

- 第1回 初回打合せ
- 第2回 中間打合せ
- 第3回 最終打合せ

第 5 章 作成図書の内容は、以下のとおりとする。

1. 図面作成

- (1) 一般平面図
- (2) 基本フローシート
- (3) システム系統図
- (4) 詳細図
- (5) 配線図（経路図、系統図）
- (6) 配置図
- (7) 配管図（平面図、断面図）
- (8) 構造図（平面図、断面図、基礎伏図、その他）

2. 設計書作成

- (1) 数量計算書
- (2) 設計書
- (3) 特記仕様書

3. その他発注者が必要と認めたもの

第 6 章 審 査

1. 審査目的

受託者は、業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な検討を行うことにより、業務の高い質を確保するとともに、設計図書に誤りがないよう努めるものである。

2. 審査体制

受託者は、遺漏なき審査を実施するため、相当な技術経験を有する審査員を配置しなければならない。

3. 審査事項

受託者は、設計全般にわたり、最適な水道施設の維持管理を基本として以下に示す事項について審査しなければならない。

- (1) 設計計画の妥当性
- (2) 計算書と設計図面との整合性
- (3) 計算書（容量計算書・数量計算書等）の精査

第 7 章 成 果 品

本業務は、電子納品の対象とする。電子納品とは南九州市ホームページ掲載の「南九州市電子納品の手引き（案）」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。電子納品の運用にあたっては「南九州市電子納品の手引き（案）」に基づいて行うものとする。